

平成26年03月14日ラジオ番組内容

148.『子宮筋腫でお悩みの女性のご相談』

子宮に発生する腫瘍（かたまり）が子宮筋腫です。良性の腫瘍です。

がんのような悪性腫瘍と違い、生命をおびやかすことはありません。

また、子宮筋腫ががんになりやすいということはありません。

原因には女性ホルモンが影響していると考えられています。

中でもエストロゲンの影響が大きいといわれています。

初経が早くなるにつれ、エストロゲンの影響を受ける期間が長くなります。

そのため子宮筋腫が多くなるというわけです。

一方同じ女性ホルモンでもプロゲステロンには子宮筋腫の発生を抑える作用があると考えられています。

このプロゲステロンは妊娠中に多量に分泌されます。

ところが晩婚化で妊娠が遅くなったり、少子化で妊娠回数が減少する傾向があります。

そのためプロゲステロンの影響を十分に得られません。このような理由で子宮筋腫になる人が増加していると考えられています。

当院でも、3センチ以下の筋腫であれば小さくなる可能性もあり、3センチの筋腫がほぼ改善した例や、

3つあった筋腫がサイズが小さくなってさらに2つに減った例もあります。

筋腫はチョコレート嚢腫や卵巣嚢腫同様、『肝』の不調から起こることが多いのです。

『肝の経絡』と子宮筋腫

この病気は、鍼灸治療では、「肝の経絡」と深く関係があります。

子宮筋腫でお悩みの女性は、この経絡の詰まりや流れの滞りが多く見受けられます。

肝の経絡と主な症状

『肝』

「肝」とはストレスを受け止めるクッション。

ストレスが溜まっていたり、何か大変なことが重なった時に卵巣が腫れたという女性が沢山いらっしゃいます。

肝の経絡が詰まってしまい、その経絡の上に乗っている卵巣、子宮の働きに影響があると考えます。

肝の該当症状以外にも、感情や精神の影響によってストレスを貯めやすい人は免疫が落ちやすいため、その点も留意します。

『胆』

肝と裏表に関係しているのが胆という経絡です。

胆が弱い人は色々なことが心配になりクヨクヨしやすいです。

胆の弱い方は…

・おどおどしやすい ・音に敏感でびくっとしてしまう ・メニュー

選びなど簡単な決断にも時間がかかる

一概には言えませんが、女性の体で女性器は、ストレスをダイレクトに受ける場所です。

そして『肝』は自然界で言うところの『木』にあたります。

ですので、症状の緩和、改善のためには木のようにのびのびとした生活を送ることが大切です。

肝のバランスを崩していらっしゃる方は体に入力やすくなってしまい、

歯軋りをしたり、肩こり頭痛がひどかったりするので、ふっと力をゆるめてあげることがとても大切なのです。